
「da Vinci サージカルシステムを用いた泌尿器科がんロボット支援手術の手術成績・周術期成績および制癌効果に関する実臨床解析」 に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2022年10月1日から2025年12月29日の期間に埼玉医科大学国際医療センターを受診し、前立腺癌、膀胱癌、腎癌、腎盂癌、尿管癌、副腎腫瘍に対してロボット支援根治的前立腺全摘術(RARP)、ロボット支援根治的膀胱全摘術(RARC)、ロボット支援根治的腎摘除術(RARN)、ロボット支援腎部分切除術(RAPN)、ロボット支援腎尿管全摘除術(RANU)、ロボット支援副腎摘除術(RAA)を受けられた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

本邦では2012年にロボット支援前立腺全摘除術が保険適用となって以降、泌尿器科領域を中心にロボット支援手術が広く行われるようになり、技術も進歩してきました。当院でもロボット手術を行っており、現在はda Vinci Xi、da Vinci SP、da Vinci 5など複数の機種を使用しています。ロボット手術では、立体的に見える映像(3D画像)と、関節のように曲がる手術器具を用いることで、より精密な操作が可能になります。これにより、体への負担を抑えた手術が期待され、出血量の軽減や回復の促進につながる可能性があります。このうちda Vinci 5には、鉗子の先端にかかる力を感知し、その感覚を術者に伝えるForce Feedback機能があります。また、医師の手の動きや操作を数値として記録し、後から確認できる点も大きな特徴です。こうした情報を活用することで、手術技術をより客観的に評価し、医師の技能向上や教育に役立てられることが期待されています。

一方で、ロボット手術が実際の診療の中でどの程度安全で、がん治療としてどれくらい効果があるのかについては、機種を含めて十分に整理された実臨床データがまだ多くありません。そこで本研究では、当院でロボット手術を受けられた患者さんの診療記録(電子カルテ)や手術に関する情報を用いて、手術の安全性や治療成績をまとめて分析します。本研究のために新たな治療や追加の検査を行うことはありません。通常の診療で得られた情報を、個人が特定されないよう加工(匿名化)した上で利用します。

本研究で得られた結果は、今後の医療の質の向上や、より安全な手術の提供に役立てられることが期待されます。なお、本研究への情報提供を希望されない場合は、いつでもお申し出いただけます。お申し出によって、診療上の不利益が生じることはありません。

3. 研究期間

病院長の許可後～2030年9月30日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1ヶ月程度の予定です。

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

診療情報記録、検査、画像、病理データ

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて研究責任者である金子 剛が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

前立腺癌、膀胱癌、腎癌、腎盂癌、尿管癌、副腎腫瘍と診断されロボット支援根治的前立腺全摘術(RARP)、ロボット支援根治的膀胱全摘術(RARC)、ロボット支援根治的腎摘除術(RARN)、ロボット支援腎部分切除術(RAPN)、ロボット支援腎尿管全摘除術(RANU)、ロボット支援副腎摘除術(RAA)を受けられた患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者(研究実施機関)

- ・埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 金子 剛(研究責任者)

4. 試料・情報の管理責任者

- ・埼玉医科大学国際医療センター 病院長 佐伯 俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 金子 剛

〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4111(土日祝日を除く8:30~17:30)

○研究課題名：da Vinci サージカルシステムを用いた泌尿器科がんロボット支援手術の手術成績・周術期成績および制癌効果に関する実臨床解析

○研究責任者：埼玉医科大学国際医療センター 泌尿器腫瘍科 金子 剛